

製品名

ボンフロン水性ACミドルコート

AGCコーテック株式会社

系 統	フッ素樹脂系エマルジョン塗料		
特 徴	1. ボンフロン水性ACガードコート及び水性SRラストコートⅡとの密着性に優れています。 2. 水性塗料であるため安全性、低公害性に優れています。 3. コンクリートの素地感を損なわず、均一な仕上がりになります。		
用 途	1. 打ち放しコンクリート面の素地感を要求される箇所 2. 内外部用塗料		
荷 姿	15 kg	4 kg	
混 合 比	—	—	色 相 乳白色(乾燥後、透明)
ポ ッ ト ラ イ フ	—	—	
乾 燥 時 間	指 触(23℃) 半硬化(23℃) 硬 化(23℃)	1時間 5時間 7時間	塗装間隔 次工程までの放置時間(23℃) 下限 4時間 上限 —
標準所要量 (kg/m ² /回)	下限 0.10	上限 0.17	標準塗膜厚 (μ m/回) 35 (塗着効率100%)
塗装方法	スプレー、ハケ、ローラー等		主な適用法令 労働安全衛生法 該当なし 消防法 該当なし
希釈剤	—		
希釈率(重量比%)	下限 —	上限 —	
固 形 分 (%)	32		
比 重	1.01		
有効期間 【品質保証期限】 (未開封)	6 ヶ月 (製造後)		
塗 装 上 の 注 意	1. 躯体表面の脆弱部分、未硬化のセメント粉化物、エフロ等は完全に除去して下さい。 2. 必ず使用前に、十分な攪拌を行って下さい。 3. 十分乾燥した後に、次工程を行って下さい。 4. 降雨降雪の恐れがある場合および強風の時は施工を避けて下さい。 5. 低温(5℃以下)、高湿度(85%RH以上)の時の施工は避けて下さい。 6. 屋内など密閉された場所で施工する場合は、局所排気などの手段を講じて十分に換気を行って下さい。		
備 考	詳細はSDSをご覧ください。		

制定: 2016年3月22日

改訂: 2018年2月28日

取扱い上の注意事項

1. 取扱い方法及び保管

- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 塗装中、乾燥中とも換気をよくし、蒸気を吸込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて、有機ガス用防毒マスク又は送気マスクを付け、更に頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、えり巻きタオル、保護手袋等を着用して下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、ウエスで拭きとって、水をはった容器に保管して下さい。
- ・ 塗料あるいは溶剤等の付着したウエスや塗料カス、スプレーダスト等は廃棄するまでは、必ず水に漬けておいて下さい。
- ・ 取扱い後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
- ・ 缶上部の取っ手は手下げ専用です。ロープやフック等を取っ手に取り付けてつり下げないで下さい。
- ・ 貯蔵中は容器を密閉し、直射日光や雨のあたらない、換気の良い一定の場所を定めて保管して下さい。
- ・ 部外者の出入りできないところで、かつ子供の手の届かないところに保管して下さい。

2. 救急処置

- ・ 皮膚や着衣に付着した場合は、水やせっけんで十分に洗い落とし、皮膚に痛みや外観の変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けて下さい。

3. 火災時の処置

万一、火災が発生した場合には、炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いて下さい。

4. 廃棄

- ・ 廃材、材料の付着したウエス等は安全な方法で保管し、廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ・ 容器は中身を使い切ってから、廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。

5. 誤使用

- ・ 本来の用途以外(シンナー遊び、汚れ落とし等)に使用しないで下さい。
- ・ 指定された以外の材料と混合しないで下さい。

6. 詳細情報

- ・ 詳細な情報が必要な時は、安全データシート(SDS)をご参照下さい。